

■北大が関東トップ8の東大と対戦。春季オープン戦は7試合

北海道学生アメリカンフットボール連盟の定例理事会が4月14日、札幌市西区の市生涯学習センター・ちえりあで開かれ、今季の活動計画を決めた。春季オープン戦は、6月9日の北星学園大・札幌学院大合同チーム－北海道科学大戦（午前10時、札幌学院大グラウンド）を皮切りに7試合を行う。このうち6月16日は、第48回すずらんボウルとして北海学園大－釧路公立大（午前10時）、北海道大－東京大（午後1時）の2試合を札幌市円山競技場で行う。入場無料。

北海道大－東京大戦は北海道大の創部50周年記念試合。東京大は関東学生1部上位リーグ（トップ8）所属で、昨季は7位だったが、入れ替え戦で1部下部リーグ（ビッグ8）2位の駒澤大を下してトップ8残留を決めている。北海道大は昨季、北海道学生選手権（秋季リーグ）1部で2年連続28度目の優勝を飾っている。

他の試合日程は次の通り。

▽6月30日 室蘭工業大－東京農業大（午前10時、北海学園清田グラウンド）、北海学園大－帯広畜産大（午後1時、同）

▽7月14日 北海道大－北海学園大（午後1時、北海学園大清田グラウンド）、帯広畜産大－釧路公立大（午後1時、帯広畜産大グラウンド）